# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【慈恩寺小学校】

## ① 目 標・策

| | 目 標 | | 策 |
|---|---|---|---|
| 知識・技能 | 令和5年度さいたま市学習状況調査の算数の「数と計算」ににおいて、令和4年度の自校の結果より平均2pt向上させる。 | ⇒ | 昨年度の市学調の結果や児童の実態をもとに、各学級の「つよみ・よわみ」を明らかにする。明らかになったことをもとに学年の発達段階に応じ、算数の時間のはじめや朝学習の時間を活用し「数と計算」に特化した問題を一年間継続して取り組む。 |
| 思考・判断・表現 | 令和5年度さいたま市学習状況調査の国語の「思考・判断・表現」に関わる領域において、令和4年度の自校の結果より平均2pt向上させる。 | ⇒ | テーマや時間、話し方・聞き方、タブレットの活用等、発達段階に合わせたスピーチを児童が順に実施する。国語の学習に留まらず「思考・判断・表現」を意識した授業を展開し、自分の考えを言葉や文章で表現する活動に取り組む。キャリアnaviに基づく資質向上指標を各教諭がもち、内容と方法等学習指導の改善を目指す。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 令和5年度さいたま市学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 | ⇒ | アクティブ・ラーニングを取り入れた授業展開の促進のため、研修推進委員が中心となった校内研修の充実と研究授業を一年間に3回以上実施する。縦割り活動による異学年交流や学校行事、児童会集会活動等において、児童に役割を任せる体験活動を通して、自己肯定感を高め自信へとつなげる。 |

## ② 全国学力・学習状況調査結果・分析

| | |
|---|---|
| 知識・技能 | 算数「数と計算」の加法と乗法の混合した整数の計算や、分配法則を用いた計算の問題では、加法と乗法の混合した整数の計算を正しく計算できる児童が少ない。(151+49)×3と151×3+49×3という問題では、計算をしなくても式を見れば答えが同じになることに気付くことが難しい児童が見られる。これは、計算方法の理解が不十分なことや正しい計算方法が定着していないことが要因であると考えられる。 |
| 思考・判断・表現 | 国語では、目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる問題において、無解答率が高い。話の内容を捉えることが難しい児童が多く見られた。登場人物の発言については書くことができている。しかしながら、登場人物の思いを捉えることができる児童が少ない。これは、問題に対して記述で解答する経験が少ないことが要因であると考えられる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 令和5年度全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目の、肯定的な回答が平均を上回った。授業では必ず、自ら課題を確認したり課題の解決へ向けた学習方法を自分で選択したりする活動に取り組んでいることが成果として考えられる。より一層、児童主体の学びとなるよう主体的な活動を取り入れた授業改善に務める。 |

## ③ 中間期見直し（全国学力・学習状況調査結果分析後）

| | 目 標 | | 策 |
|---|---|---|---|
| 知識・技能 | 変更なし | ⇒ | 全国学力・学習状況調査の結果から、四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算することが課題である。2・3学期は各学年の課題について、ドリルパークや小プリント等でじっくりタイム等を活用して繰り返し学習に取り組んでいく。 |
| 思考・判断・表現 | 変更なし | ⇒ | 複数の資料を基に考えをまとめる力が高められるよう、各教科において、話を聞いたり文章を読んだりすることで内容を理解する力をつける。そのために、授業において学習のまとめを自分の言葉で書く活動を継続する。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 変更なし | ⇒ | 授業における目標を明確にし、どんな力をつけるのか、児童が見通しやめあてをもって授業に臨めるようにする。授業の終わりに学習のふりかえりを実施する。 |

## ④ さいたま市学習状況調査結果・分析

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小3 | | 小4 | |
| 小5 | | 小6 | |

## ⑤ 目 標・策の達成状況

| | | 評価（※） |
|---|---|---|
| 知識・技能 | | |
| 思考・判断・表現 | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | |

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（概ね達成）　C 6割未満（あと一歩）

## ⑥ 次年度への課題と改善策

| | |
|---|---|
| 知識・技能 | |
| 思考・判断・表現 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | |